

第二回 IT 活用研究会(東京) 議事録	
日時:	2010/12/08(水) 15:00~18:00
会場:	クオリティ(株) 本社 6F 会議室
テーマ:	仮想デスクトップサービス利用の事例
講師:	株式会社インターネットイニシアティブ マーケティング本部 GIO マーケティング部 小川 晋平 氏
司会・進行:	IT 活用研究会座長 株式会社リコー IT/S 本部 IT/S 本部 IT/S 技術センター サーバーグループ シニアスペシャリスト 宮腰 寿之 氏
※ 当研究会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。 ■講演への質問&ディスカッション Q: iPad 上での仮想デスクトップは、社内 LAN だとサクサク動いていたが、外出時の 3G 回線だと速さはどうなのか？ A: PPT だとタッチしてから 2~3 秒で反映するぐらいのレスポンス。Wi-Fi だともっと快適に使える。 Q: プロトコルは？ A: Citrix ICA である。 Q: PDA 端末での利用事例などがあれば教えて欲しい A: 無いことはないが、PDA での利用は少ない。 Q: お客様先に提案するパターンと、自社導入するパターンの 2 つで質問がある。 WAN のところ、速度はどのくらいか？ A: 100M である。 Q: 細い回線での利用事例はあるか？ A: 300 ユーザで同時使用 50 台。インターネット VPN を利用している。ただ細いということではなく、セキュリティポリシー上そうしている。 Q: この絵の中ではプリンタが無いのだが、プリンタサーバはどちらに置いているのか？ A: 現在は社内にサーバがある。地区によって変わる。できるだけネットワーク負荷がかからない手段を取っている。 Q: 証券会社は、インターネット VPN はダメなのに、クラウドで外にデータを出すのに抵抗はないのか？ A: そこに抵抗は無いようだ。物理的には多数の会社のサーバがデータセンターに集まっているが、論理的には絶対に他社のデータは見えない。	

逆にセキュリティは強固なぐらいである。

Q: この証券会社 600 台の事例では、社内の共有データのみで、個人情報などのクリティカルなデータは入っていないのではないのか？

A: それについては、実際は分からない。

Q: クライアント導入数が昨年度と比較して、4 倍増ぐらいであるという話だったが、仮想デスクトップの導入は増加していると捉えて問題ないのか？

A: 仮想デスクトップというより、シンクライアントである。非常に増えている。

Q: グループ全体のシンクライアントを検討しているが、問題はコストだと考えている。事例だと既存のリソースを利用した方が安いように思える。実際はどうか？

A: 大規模になれば、そういうことは無いだろう。一括で新規調達すれば、コストも下がる。

Q: 何万台規模の会社では、この業務効率化のコストカットという部分は、ユーザにやらせているのか、サポートにやらせているのか？

A: ユーザにやらせている。

Q: あるベンダーから XenApp と XenDesktop を比較して……XenApp の存在価値とは何なのか？

A: 同時接続の問題である。

Q: アプリケーションのライセンス管理で問題はないのか？MS-Office などはサービス提供側が管理するのか、ユーザ側で管理するのか？

A: MS からサービス プロバイダー製品使用権説明書 (SPLA) というライセンス形態で提供してもらっているが、エンタープライズアグリーメントの方が安価な場合がある。

Q: バージョンアップのサービス提供側でやってくれるのか？

A: サービス提供側で行なう。ライセンスコストは通常通りだが、アップ作業をサービス提供側で行なう。

Q: 運用までやってくれるのか、運用は企業側で行なうのか？

A: 運用フェーズの部分のリソースを持っている会社もあるので、そこを外に出すか出さないかはカスタマイズできる。当然運用まで請け負うことはできる。

Q: 経営層はクラウド化がコストカットになるのであれば、すぐにやれという突き上げがあるが、情報システム部門としては、インベントリすら取れていない状態で、どれだけ運用コストが下がるとか下がらないとか測ることができないので戸惑っている。情報システム部門としては、運用を外に出すか出さないかどちらが幸せなのか？

A: 会社からのミッションとして情報システム部門に運用業務が与えられているのであれば、そちらが良いのでは。

リソースが潤沢にあるかないかによるのではないのか？

Q: 現状力技で残業すれば、何とか業務がまわってしまう状態である。ライセンス管理などはきちんとやろうとすると、かなり工数を食う。

Q: iPad を含むスマートデバイスを利用した場合、セキュリティはどのくらい確保できるのか？デバイスのローカルにデータを保存できてしまうのではないか？

A: 出来ないようになっている。パスワードの打ち間違いで、データが消去される機能と組み合わせれば、モバイル PC に暗号化やセキュリティツールをインストールしてトータル 25 万ぐらいかかるのと比較して、4 万円ぐらいで済む。

Q: CAL のライセンスはどうなるのか？

A: 基本的に 2008 から、CAL は必要なくなっている。サーバライセンスにトータルで含まれている。

Q: これからサーバを立てるということであれば、2008 で立てた方が安くなる場合があるということか。

A: そのとおりである。

クラウドは「インターネットが無いと使えない」、「基幹システムと連携できない」というのは誤解である。

Q: クラウドをとりあえず試したいという場合、どのくらいの初期コストと月額コストがかかるのか？

A: 同時接続 30 ユーザで、20 万円/月を切るぐらい。初期はその時の設定によるが、初期設定 40 万円ぐらいである。

Q: 開発系でクラウドに移行した事例はあるか？

A: まだあまり無い。CAD 系ならあるが、この分野はあまり必要ないのかなと考える。